

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|----------|--------------------|---|---|
| 家計 動向 関連 (沖縄) | ◎ | 百貨店（店舗企画） | 来客数の動き | ・前年の同時期と比べ規制のない販売活動により、催事場イベントによる集客が図れてにぎわっている。 |
| | ◎ | コンビニ（副店長） | 来客数の動き | ・ゴールデンウィーク期間中は、来客数も例年より大幅に増え売上も好調であった。ゴールデンウィーク明けも前年と比べて来客数が増えている状況である。 |
| | ○ | 一般小売店 〔酒〕（店長） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス新規感染者数は増加しているが、重症者率が低くなっているのはワクチン接種がうまくいっているからであるとみている。まん延防止等重点措置も適用されず、経済がある程度回っている。 |
| | ○ | 衣料品専門店 （経営者） | 来客数の動き | ・今年の5月は久しぶりに制限のないゴールデンウィークもあり、そのまま景気に反映されたとみている。多くの国民が新型コロナウイルスに慣れてきたことも要因かとみている。 |
| | ○ | その他専門店 〔陶器〕（製造） | 販売量の動き | ・発注量が増えている。 |
| | ○ | その他飲食〔居酒屋〕（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が相変わらず多いため、地元客はビジネス街ではほとんど夜の飲食はしないが、来店する観光客数が徐々に増えてきている。 |
| | ○ | 観光型ホテル （代表取締役） | 来客数の動き | ・人流の制限もなく、沖縄への旅行者も徐々に増えており宿泊の客室稼働率も40%台に回復している。飲食に関しては、まだ夜の宴会や夕食などは数えるほどであるが、日中の会食は増えてきている。 |
| | ○ | 観光型ホテル （企画担当） | 販売量の動き | ・ホテルの2月の販売室数が前年比13%増加であったのに対し、5月の販売室数は前年比67%増加と、プラス幅が大きくなっている。 |
| | ○ | 観光名所（職員） | 来客数の動き | ・行動制限が出なかったことで、来客数の動きが良い。 |
| | □ | 旅行代理店（マネージャー） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス新規感染者数が高止まりで推移しても、旅行する人はする、しない人はしないとはっきりしている。 |
| | □ | 通信会社（営業担当） | 販売量の動き | ・販売数の前年比は80%台が続いている。新型コロナウイルスの新規感染者数も収まった月末はやや回復傾向にあるので今後に期待する。 |
| | □ | 住宅販売会社 （代表取締役） | 販売量の動き | ・建築受注件数及び受注金額が減少傾向にある。 |
| | ▲ | スーパー（企画担当） | 来客数の動き | ・来客数減少に歯止めが掛からず、前年比6%減少と厳しい状況である。新型コロナウイルス新規感染者数は減少傾向にあるが、消費者の節約意識が高く消費意欲の改善につなげていない。 |
| | ▲ | 家電量販店（営業担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響がある。 |
| | ▲ | 住宅販売会社 （役員） | 販売量の動き | ・賃貸物件の新築アパート、マンションの供給量が建築費の高騰で減少しており、賃貸あっせんの売上も減少傾向なのが懸念される。 |
| × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・現在まだ新型コロナウイルスの感染者数が高止まり状態にあって、来客数も激減している。新型コロナウイルス感染状況の改善がなければ、影響は大変厳しい。 | |
| 企業 動向 関連 (沖縄) | ◎ | － | － | － |
| | ○ | 建設業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・高額な相談の契約が決まっている。 |
| | □ | 食料品製造業 （役員） | それ以外 | ・前月に続き売上については沖縄を舞台としたドラマのテレビ放送もあり、観光客数の増加等で好調に推移している。一方で原料費を始め光熱費などの値上がりに価格転嫁が追い付いておらず、利益の減少が続いている。 |
| | □ | 窯業土石業（取締役） | 受注量や販売量の動き | ・公共工事、民間工事共に見積り及び受注に大きな変化はなく、生産量は横ばいの状況である。 |

| | | | | |
|----------------------|---|----------------|--------|---|
| | ▲ | 輸送業（経営企画室） | それ以外 | ・5月より石油価格の高騰やウクライナ情勢の影響で小売店、飲食店で値上がりが始まっている。目に見えるほどの差ではないが、発注量が減少傾向にある。 |
| | × | 会計事務所（所長） | それ以外 | ・ウクライナ情勢、コロナ禍の長期化、円安の為替相場が影響している。 |
| 雇用 関連 (沖縄) | ◎ | — | — | — |
| | ○ | 人材派遣会社（総務担当） | 求人数の動き | ・求人案件は増加しているが、求職者の動きが鈍く、人手不足感は続いている。 |
| | ○ | 求人情報誌製作会社（営業） | 求人数の動き | ・3か月前と比較し求人数は微増であったが、中途求人再開や増員、新規採用などの声を聞く機会が多くなり、企業の採用意欲の高まりを実感している。 |
| | ○ | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・求人件数は、前年同月より25%程度増加している。 |
| | □ | 学校〔専門学校〕（就職担当） | 求人数の動き | ・IT系求人のピークが過ぎ、求人数としては徐々に減少傾向ではあるが、例年どおりの動きであることと、他分野の求人もあることを考えると、良い状況のまま変わらないといえる。 |
| | ▲ | — | — | — |
| | × | — | — | — |